

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
 252-0239
 相模原市中央区中央3-12-3
 商工会館本館1階
 ※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞
 KANAKAKEI

GETプロ テーマは「働き方改革」 先進事例を順次紹介へ

工業部会GETプロジェクト(豊岡淳委員長)は、2019年度のテーマの一つに「働き方改革」を設定、相模原のみならず県内中小企業の先進事例をシリーズで紹介していく。第一弾は横浜の産業用ヒーター製造メーカー、スリーハイ(横浜市都筑区)の男澤誠社長を講師に迎える。

第1回講演会は7月

7月24日午後6時半～
 同8時まで、市立産業会館で「働き方改革で会社

が変わる! 中小企業の改革者たち ケース①」と題した男澤社長の講演会を行う。

同社では、繁忙期に残業する社員が目立っていたことなどから、働き方改革を断行。仕事を終えてから次に働き始めるまでに一定の休憩時間を確保

保する「勤務間インターバル制度」を中小企業で珍しく導入している。具体的には、退社から次の日に出勤するまでの時間(インターバル)を最低でも「9時間」と設定し社内へ通知。徹底させている。

さらに、残業代削減分を賞与に反映制度導入とともに、残業削減に向けた取り組みを開始。まずは勤務時間を「見える化」するために、これまでの打刻式タイムカードからクラウド型の勤怠管理システムに変えた。これにより、それぞれの勤務状況が共有できるようになったという。

一方で朝礼も工夫。お互いが抱えている仕事情報を共有することで、協力しあえる職場環境作りも始めた。朝礼時には、それぞれの従業員が退社予定時刻を宣言している。

講演会ではこうした事例を紹介していく。申し込み、問い合わせは産業振興課(042-753-8136)まで。



スリーハイの男澤社長

最新IT技術をテーマに講演会 近未来研 工業部会・近未来技術研究会(田森幸一会長)は5月21日、市立産業会館で第1回例会「夢のデジタル革命! 量子コンピュータを活用したデジタルトランスフォーメーション最前線」をテーマに、富士通(株)エバンジェリストの及川洋光氏を招き、講演会を開いた。及川氏の講演では、夢の技術と謳われる「量子コンピュータ」の概要や研究開発の現状についての説明があり、さらに、ITの浸透が人々の生活をあらゆる面を向上させる「デジタルトランスフォーメーション」の展望について、最新技術のデモンストレーションを交えた解説があった。(詳細は会報6月号に掲載しています)

NTT東の最新技術視察 TRY

工業部会TRYプロジェクト(吉田英訓委員長)は5月22日「NTT東日本 Solution Forum 2019」の視察会を開催した。工業部会などから18名が参加し、NTT東日本が既に実用化している先端技術を学んだ。

視察したイベントは、人手不足に代表される社会問題をICTを活用して解決するソリューションや安心・安全な通信を支える取り組みなどを凝縮したNTT東日本の今を体感できる展示会。

一行はまず遠藤功氏(株)ローランド・ベルガ(会長)の特別講演を聴講。日本の製造業が失いつつある現場力をICT

の活用により取戻すためのアプローチ手法を学んだ。

続いての展示会場見学では、4つのテーマ(オフィス業務効率化/現場稼働をICTで分担/生産現場の稼働を軽減/地域のまちづくり)に分かれた展示ゾーンを視察した。

参加者からは「セミナーでビジョンの共有と競争戦略の重要性が理解できた」「ビジョンの実現に向けた戦略としてのICTを学ぶことができた」などの感想があり、今後の生産性向上に向けた手応えが感じられる大変有意義な視察となった。

松岡社長は職場や周囲でうつ病になる人が続出したことを受け「何か自分ができることはないか。そのためには自分自身がうつ病について知らなければ」と2015年に国家資格「精神保健福祉士」になるための専門学校に入学した。

翌年には同資格に合格。その後、中小企業で職場からのうつを防ぐこと、産・学・工業が連携



最新技術に触れた参加者たち

工業部会副部長を務める湘南デザイン(緑区橋本台)の松岡康彦社長が、和光大学大学院・社会文化総合研究科の修士

松岡氏が大学院修了 「公認心理師」目指し奮闘

課程を修了。大学院修了などが要件となっている心理職で国内唯一の国家資格「公認心理師」の試験を8月に受験する予定



大学院を修了した松岡社長



さあ、5年後の未来を見に行こう。

新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会